

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年9月4日～9月10日)

平成 26 年(2014 年)9 月 12 日

H E A D L I N E S

## 政治

上院補欠選挙にて最大野党「法と正義」(PiS)の候補者3名が勝利  
トウスク首相, 内閣総辞職を提出  
コモロフスキ大統領, 国家安全保障会議を招集  
コモロフスキ大統領, NATOウェールズ首脳会合に出席  
ユンカ一次期欧州委員長, ビエンコフスカ副首相兼インフラ開発相を欧州委員に指名

## 経済

欧州委が農産品補償措置を停止  
ポーランド企業の海外投資は避けられない流れ  
新車販売台数は引き続き増加  
8月の自動車生産は低下  
PGE EJ1社の株式保有に関し関係会社間で合意  
経済フォーラムで欧州委員会の環境政策への批判が相次ぐ  
原子力プロジェクトの進捗状況  
ロシアからのガス供給不足に対するPGNiG社発表  
ポーランドは世界43位の競争力

## 大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)  
大使館広報文化センターの開館時間について  
東日本大震災義捐金受付について  
文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
問合せ先:大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の

政 内	治 政
-----	-----

**上院補欠選挙にて最大野党「法と正義」(PiS)の候補者3名が勝利【7日】**

7日、上院議員2名の欧州議員転出及び1名の逝去を受け、マゾフシェ県、シロンスキエ県、シフィエント・クシシュキエ県にある選挙区において上院補欠選挙が実施され、全3選挙区にて最大野党「法と正義」(PiS)の候補が勝利した。カチンスキPiS党首は、今次選挙結果に関し、ポーランド国民はトウスク首相がブリュッセルに行く一方で、ポーランド国内の問題は依然として残るといふ現実を理解している旨述べた。

**トウスク首相、内閣総辞職を提出【9日～12日】**

9日、トウスク首相はコモロフスキ大統領に対し内閣総辞職を提出した。コモロフスキ大統領は、11日に右内閣総辞職の提出を正式に受理し、12日朝に連立与党の次期首相候補であるコパチ下院議長と会談を行った。12日、大統領府報道室長は、コモロ

フスキ大統領はコパチ下院議長と15日に再度会談を行い、その際に同議長を首班指名し、組閣を命じる予定である、新内閣は22日に任命される予定である旨述べた。

**コモロフスキ大統領、国家安全保障会議を招集【9日】**

9日、コモロフスキ大統領は、国家安全保障会議を招集し、NATOウェールズ首脳会合の成果を踏まえてのポーランドの安全保障課題に関する意見交換を行った。コモロフスキ大統領は、会議後の記者会見にて、NATOの計画に基づいて他のNATO加盟国の軍隊がポーランド領土に速やかに展開できるようにすること、そして保管施設等を整備することで効果的な活動を可能とすることがポーランドの安全保障にとって最も重要である旨述べた。

外 政
-----

**コモロフスキ大統領、NATOウェールズ首脳会合に出席【4日・5日】**

4・5日、コモロフスキ大統領は、NATOウェールズ首脳会合に出席した。同大統領は、5日の会合終了後に記者会見を行い、NATOがポーランド国境の東側における脅威に対する連帯・団結の原則を確認し、同盟の東側におけるNATOの継続的なプレゼンスの確保というポーランドの要求を受け入れたことを評価する、また、初動対処部隊(極めて短時間で展開可能な部隊)の創設を含むNATOの対応能力の強化に関する決定を高く評価する旨述べた。また同

大統領は、2016年のNATO首脳会合がワルシャワで開催される旨発表した。

**ユンカー次期欧州委員長、ビエンコフスカ副首相兼インフラ開発相を欧州委員に指名【10日】**

10日、ユンカー次期欧州委員長は、ポーランドの欧州委員候補者であるビエンコフスカ副首相兼インフラ開発大臣を域内市場・産業・企業・中小企業担当欧州委員に指名した。新欧州委員会の発足には、欧州議会による公聴会及び信任投票、欧州理事会における任命等の手続きを経る必要がある。

経 済
経済・財政政策

**欧州委が農産品補償措置を停止【10日】**

欧州委は、ロシアの農産品禁輸措置により被害を受けている農家を救済するため、8月18日に最大1億2,500万ユーロの補償措置を導入したものの、

水増し請求があったとしてこれを停止した。特にポーランドから提出された数値が懐疑的で、ポーランド産キュウリ及びガーキンの補償についてはロシア向け年間輸出の487%に相当する額が請求された模様。

ポーランド産業動向
-----------

**ポーランド企業の海外投資は避けられない流れ【5日】**

クリニツァで開催された経済フォーラムにおいて、ジェチポスポリタ紙はポーランド企業の海外投資ランキングを発表した。2013年の総額は33億ユーロで、2012年の51億ユーロよりも少なかった。最も投資が大きかったのは、国営企業のPKNオルレン社、KGHM社及びPGNiG社であり、非国営企業では Synthos 社が最も大きかった。1990年代は自国内市場での地位を守ることにのみ関心があったが、今は海外に投資せずにはいられない状況

となっている。これまでで最大の投資は、PKNオルレン社のリミア石油精製企業の買収案件であり、同社は30億ドルもの投資は巨大かつ巨額であり、ポーランドでのプロジェクトを制限していることを認めている。

**新車販売台数は引き続き増加【5日】**

ポーランドの新車販売台数が15ヶ月連続で伸びている。8月の乗用車と商用車の新車登録台数は約3万5千台で、前年同期比6.5%の増加であった年初からの累計では15%の増加となっている。

調査会社である Samar automotive 社によれば、まだ約7%の新車の再輸出はあるものの、2014年の販売台数は31万5千台に達するとみている。高級車部門の伸びは8月までの累計が30%と引き続き高く、大衆車部門では15%となっている。販売上位10社にはシュコダ、フォルクスワーゲン、トヨタが名を連ねており、4位のオペルも40%以上の伸びを示している。

### 8月の自動車生産は低下【10日】

自動車専門調査会社 Samar によれば、2014年8月期の乗用車・バンの生産は22,068台であり、前年同期比-36.93%、前月比-60.95%の下落となった。2014年1-8月期の生産累計台数は、394,624台で、前年同期間の合計台数に比べ0.77%上回っている。8月の落ち込みについて、同社は8月には夏休みによる工場の休業があったためと解説している。

## エネルギー・環境

### PGE EJ1社の株式保有に関し関係会社間で合意【4日】

PGE社、エネア社、タウロン社及びKGHM社は、原発建設プロジェクトの建設・運営企業であるPGE EJ1社に関する最終合意文書に署名した。この合意により、PGE社が70%の株式を保有し、他の3社がそれぞれ10%を保有することになる。さらに、建設事業に共同出資することについても合意し、PGE社の発表によれば、10億ズロチを見込んでいるという。また、プロジェクト推進に関する最終判断は、2017年に市場の状況や投資状況等の分析結果を踏まえて行うとしている。

制が問題であるとの発言やチェコの電力企業からは、頻繁な規制の変更や予見不可能性の導入が個人投資家にとって魅力を失わせているとの指摘があった。

### 原子力プロジェクトの進捗状況【9日】

PGE EJ1社のチホシュCEOは、9日にグダンスクで開催されたプレス・カンファレンスで、原発建設サイトの決定は2017年又は2018年になると発言した。この決定は、現在 Worley Parsons 社によって行われている環境影響調査の結果を踏まえ行われる。

### 経済フォーラムで欧州委員会の環境政策への批判が相次ぐ【5日】

クリニツァの経済フォーラムにおいて、欧州委員会の進める環境・気候変動政策への批判的な発言が相次いだ。ポーランドの持つ石炭やエネルギー集約型の産業のコスト優位性のような産業競争力へ打撃を与えるという指摘や、win-winの観点から経済成長に寄与せず、欧州委員会はその要求を裕福な国だけでなく全ての国に適合するようにならなければならないという発言があった。また、再生可能エネルギー企業からは、市場への過剰な規

### ロシアからのガス供給不足に対するPGNiG社発表【10日】

国営ガス会社のPGNiG社は、9月8日以降のウクライナやベラルーシを経由してロシアから供給される天然ガスが不足していることに関し、他のルートを経由して調達しており、現時点で冬期に向けた備蓄から融通する必要はないと発表している。また、本件に関しガスプロム社からの情報はまだ来ておらず、供給不足の理由については調査中であると述べている。

## その他

### ポーランドは世界43位の競争力【4日】

世界経済フォーラムの2014-2015年の2014-2015年の国際競争力レポートにおいて、ポーランドは前年の42位から43位に順位を下げた(148カ国中)。同レポートによれば、ポーランド企業にとって最大の障害は税に関する法規制であり、変化や柔軟性に欠け、予見性がないと厳しく指摘している。ま

た、道路や鉄道に見られるようにインフラにおいては他のEU諸国に比べ遅れを取っているとも述べている。さらに、ポーランド企業のR&D投資の少なさや大学との協力が進んでいないことを指摘し、政府もイノベーションを起こすような先端技術への指針や施策を示していないと述べている。なお、同レポートでは、1位がスイスで、米国とシンガポールが続いている。

## 大使館からのお知らせ

### 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

### 大使館広報文化センターの開館時間について

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

### **東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

## 文化行事・大使館関連行事

### **【開催中】日本一美しい庭園写真展【9月3日(水)～9月30日(土)】**

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミーの植物園主催による『日本一美しい庭園写真展』が開催されます。スタニスワフ・ロシコフスキ氏撮影による日本庭園の写真が展示されます。

開催場所: ワルシャワ, ポフシン, ul. Prawdziwka 2

詳細: [http://www.ogrod-powsin.pl/index\\_a.html](http://www.ogrod-powsin.pl/index_a.html)

### **【予定】第15回日本文化フェスティバル「Asucon」【9月13日(土)～9月14日(日)】**

カトヴィツェにて、シロンスク・ファンタジー・クラブ主催による『第15回日本文化フェスティバル「Asucon」』が開催されます。日本に関する講座、ワークショップ、知識コンテスト、コスプレ、ゲーム、着付け、茶道等が予定されています。

開催場所: カトヴィツェ, Slaskie Techniczne Zaklady Naukowe, ul. Sokolska 26

詳細: <http://www.asucon.pl>

### **【予定】第5回オープン柔道選手権【9月13日(土)】**

ジャルフ市にて、学生スポーツクラブ「Judoka Imbramowice」主催による『第5回オープン柔道選手権』が開催されます。

開催場所: ジャルフ市, Gminne Centrum Kultury i Sportu, ul. Piastowska 10a

詳細: <http://www.judoka.com.pl>

### **【予定】創造的交流ワークショップ「知識と理解の橋」【9月27日(土)】**

ワルシャワにて、「日の出」基金主催による『創造的交流ワークショップ「知識と理解の橋」』が開催されます。日本文化と日本武道を通じた障害児との交流が予定されています。

開催場所: Dojo SOTO, ul. Karolkowa 28

詳細: <http://fundacjaawschodslonca.pl/twi2014-start.html>

### **【予定】第4回国際空手選手権大会 IKO ポーランドオープン「ガリツィア杯」【9月27日(土)】**

レジャイスク市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第4回国際空手選手権大会 IKO ポーランドオープン「ガリツィア杯」』が開催されます。

開催場所: レジャイスク市, Hala ZSL im. B. Chrobrego, ul. M.C. Sklodowskiej 6

詳細: <http://www.karate.lezajsk.pl>

### **【予定】ワールド・ミュージック・デイズ ヴロツワフ 2014 【10月3日(金)～12日(日)】**

ヴロツワフ市にて、ISCM World Music Days 2014 主催による『ワールド・ミュージック・デイズ ヴロツワフ 2014』が開催されます。作曲家の板津昇龍氏、朴守賢氏、蒲池愛氏、徳永崇氏等の演奏が予定されています。

開催場所: <http://worldmusicdays2014.pl/program/miejsca/?lang=en>

詳細: <http://worldmusicdays2014.pl/?lang=en>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)